

検査 & 計測 — 業界動向

ウィズソル 本社新社屋竣工・移転！ 人材育成・技術開発に努め 新しい時代にチャレンジ！

（株）ウィズソル（中野克己 社長）は、12月10日、第一本社と第二本社を統合し、近隣に建設を進めていた本社新社屋に移転した。



本社新社屋外観



2階の事務所フロア全景



各種行事や研修などに活用できる多目的室

1-2500 本社 FAX 番号 082-2911-2515 (電話 FAX の変更はなし)。同社は、非破壊検査の専門会社「関西エックス線」(株)として1961年に創業。近年は、石油・化学プラントや発電設備等の産業インフラに関する検査業務で着実に施工実績を積み重ね、大型タンクの非破壊検査で全国シェア1位を獲得するまでに成長。2017年4月に更なる飛躍を期して現社名に変更した。社名の「WITHSOL」には、顧客の様々な課題を「ともに(WITH)」考え、「解決(SOLUTION)」するとの想いを込めた。事業所は北海道から鹿児島まで全国約30拠点を展開し、従業員数は430名に上る。今年度(第59期)3月期の売上高も前期を大幅に上回る60億円に達する見通しだ。今回、更なる社業の飛躍を期して、総工費約10億円を投じて本社新社屋を建設。別々にあった第一本社と第二本社を統合するとともに、社員のNDI資格教育や実務教育を行う研修施設や各種実験ができる開発施設を新設した。新社屋は3階建てで敷地面積は約500坪、建屋面積は約900坪。1階は社員の研修施設をはじめ、連続板厚測定装置等の研究・実証を行う連続ラボや装置開発を行う開発ラボ、焼鈍関係の熱処理ラボ等の開発施設を備え、X線照射室や倉庫も完備。2階は本社事務所で役員室や応接室、休憩室等がある他、大きなフロアには連続測定部(8082-2911-2501)と熱処理部(8082-2911-2507)等の部署も設置。3階は各種行事や研修等に活用できる会議室や多目的室を設けた。時期を同じく設備増強の一環で、デジタルX線検査システム「FCR」を複数台追加導入し、大型イメージングプレート等も増設。社内組織も時代の変化に対応すべく刷新し、今年10月には本社部門に事業所の安全パトロールや社内の放射線管理など安全衛生業務全般を強化する目的で「安全統括部」を新設した。少子高齢化に伴う深刻な人手不足が検査業界も慢性的な検査員不足が課題となる中、同社に検査業務の協力要請を求める依頼が増加。そのため、新社屋移転を機に、人材育成を更に推進するとともに、開発力の強化、営業体制の拡充を図り、人材の採用力・育成力の向上で、トップレベルの技術を保有する検査のプロフェッショナル集団を目指す方針を掲げる。

安全の心を育み信頼される検査のプロフェッショナル集団を目指す！

代表取締役社長

中野 克己



皆様には日頃より格別のお引立てを賜り、誠にありがとうございます。

がとうございます。この度、本社新社屋が建設されましたのも日頃よりご支援頂いている皆様のおかげです。関係者の皆様には、お気軽にお越し頂けると幸いです。歴史を少し振り返りますと、石油業界の企業統合や合併、顧客の景気動向など、

社業の発展に対し幾多の困難な出来事がございます。その度に、技術開発の強化や社員スキルアップ教育の推進、コンプライアンス行動基準の遵守等に取り組む、厳しい波を乗り越えて参りました。今日では、社である「守る」を、

「守る」を、養室等がある他、大きなフロアには連続測定部(8082-2911-2501)と熱処理部(8082-2911-2507)等の部署も設置。3階は各種行事や研修等に活用できる会議室や多目的室を設けた。時期を同じく設備増強の一環で、デジタルX線検査システム「FCR」を複数台追加導入し、大型イメージングプレート等も増設。社内組織も時代の変化に対応すべく刷新し、今年10月には本社部門に事業所の安全パトロールや社内の放射線管理など安全衛生業務全般を強化する目的で「安全統括部」を新設した。少子高齢化に伴う深刻な人手不足が検査業界も慢性的な検査員不足が課題となる中、同社に検査業務の協力要請を求める依頼が増加。そのため、新社屋移転を機に、人材育成を更に推進するとともに、開発力の強化、営業体制の拡充を図り、人材の採用力・育成力の向上で、トップレベルの技術を保有する検査のプロフェッショナル集団を目指す方針を掲げる。

守る、をともに。



WITHSOL

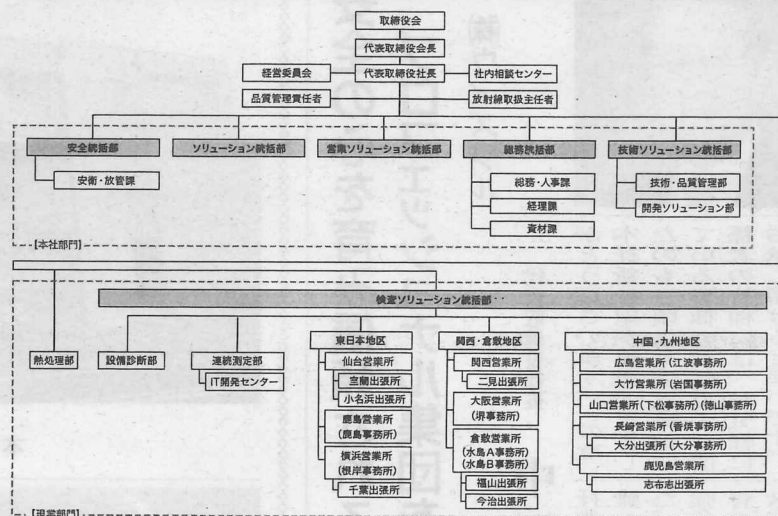
株式会社ウィズソル

業務内容：非破壊検査・熱処理工事・設備診断・技術者派遣

本社：〒733-0035 広島県広島市西区南観音6丁目2番13号 TEL (082)291-2500 FAX (082)291-2515 所在地：北海道・宮城・福島・茨城・千葉・神奈川・大阪・兵庫・岡山・広島・山口・愛媛・長崎・大分・鹿児島

http://www.withsol.co.jp

組織図



発やタンクの底板を連続測定できる装置の開発、更に保温材を解体せずに検査力を入れる。

加えて、顧客ニーズに合わせ、海外市場への進出も視野に入れる。石油プラントメーカーの中には海外拠点を展開する企業が増えており、同社にもメンテナンス要請が寄せられている。

そのため、社内に近く海外調査担当者を設け、海外の検査市場や現地で求められる検査手法の調査を開始する。

そして、同社では新元号に移行する来年を「新しい時代にチャレンジする年」と捉え、新社屋の施設や機能を最大限発揮し、人材育成や技術開発に努め、安全安心社会の維持発展に貢献していくとしている。